

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 097	提案機関名 神奈川県 自然環境保全課
要望問題名 人工林域を中心する流域スケールでの自然再生事業の統合的な実地検証	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現在、丹沢では、丹沢大山自然再生事業の一環として、森林整備事業や土壌流出対策事業、野生動物管理事業等を実施しており、今後、こうした事業が丹沢大山の自然再生に着実に結びつくよう、効果的な実施手法を検討したいと考えています。 このため、丹沢大山自然再生計画の目標とする自然環境の状態を段階的に仮設定するとともに、丹沢の人工林域を中心とするエリアをモデル流域として設定し、そこで上記事業を統合的に実施するなどして、設定した目標に対する効果と影響を、中長期的に検証することをお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考 自然環境保全センターの研究部署と事業部署を中心として、当課を始めとする丹沢大山自然再生に係る行政機関や専門家、NPO、企業、団体等と連携して取り組むことを想定しています。	

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	自然再生企画課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) モデル流域における溪畔林、モミ林等自然林の再生		
対応の内容等	令和5年3月に策定予定の「第4期丹沢大山自然再生計画」において、丹沢県有林内の尾根から谷を囲む数十ha単位のモデル流域（人工林主体の流域）を設定して、丹沢大山自然再生委員会や大学と連携して、溪畔林の再生や斜面中腹から尾根部のモミ等自然林の再生対策とその効果検証のモニタリング、その過程で将来を担う人材育成に取り組む予定です。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			